

災害時“そこにいる”ことに意味

新春対談この人に氏建設業の「存在意義」に迫る
聞く一松島祥久氏



事態を十分に予測できなかったし、午前中のうちにものう尋常でない事態になっていた。平和時に避難勧告を発令したのも午前十一時四十五分と、対策本部設置と同様の対応はどうか。松島 いや、いや、市役所の対応も良かったですよ。例えば、市は幸町の国道二四八号線高架下で、土のうをつくらせて市民に配布していたんですが、その作業は土木や消防の担当職員ではなく、他部署の一般職員があつたんですよね。災害時には、専門の職員しかできないこと、やるべきことがほかにいっぱいある。良い判断だったと思います。また業界からは、市建設工業会の加藤芳晴会長が市の対策本部に加わり、技術的アドバイスをするなどしました。直接、お互いに情報のやりとりができたことは有意義でした。

美坂町の浸水防衛、それから生田町、笠原町と、午後三時過ぎまでは水の防衛に追われました。雨量がピークを過ぎた夕方以降は、市内各地の土砂の撤去などが中心となります。また音羽町の国道二四八号線アンダーパスの排水作業については、午後六時半からポンプ六基を使って始め、十一時二十分より早く警戒水位まで低下。その後、水没車両の撤去や路面清掃を経て、二十一日午前四時に通行止め解除に至ったわけです。

「緊急対応」の資料まとめ
記憶薄れぬうちに働きかけ
――国道二一、愛岐道路もダメで、一九号線が開通するまでは、多治見は孤立に近い状態でした。名古屋など市外の通勤通学者には帰宅難民が出たり、可児や瀬戸などを經由した人もいたと聞きます。市内の交通も水が引くまでは、麻痺状態でした。道路の崩壊などがひどく、いまだに通行止めとなつてるところもあります。復旧作業などは、どのように進んでいるのでしょうか。

松島 確かに大きな災害だったのですが、県の土木事務所の管轄だと、多治見より白川のほうで被害額は大きいんです。多治見では住居などの浸水が目立ったのですが、水さえ抜ければ土木関係の被害は小さいほうだった。白川では土砂災害などが甚大だったため、額がかさむんです。そういう意味で、被害は大きかったけれど、多治見はある程度都市基盤整備が進んでいることを実感しました。

――なるほど。県内では平成二十二年の可児の豪雨、そして二十三年の多治見豪雨と、災害が続いていますね。いずれも百三十年に一度の規模といいますが、また今年も豪雨に見舞われても不思議ではない。そんな中、多治見建設業協会と多治見市建設工業会は、今後「台風十五号被害に対する建設業界の緊急対応」として、当日

平成二十三年は三月十一日の東日本大震災により、さまざまな点で日本という国の「弱さ」が露呈した。国難とも言われた大災害は、我が東濃にも大きく影響。遠くの被災者を思い支援助活動が繰り広げられるなど心温まるニュースの一方で、いつ起こってもおかしくない東海南海地震に備え、身を引き締める行動も見られた。その矢先、台風十五号の影響で九月二十日に東濃を豪雨が襲い、多治見市を中心に甚大な被害が出た。

松島 多治見市で時間雨量がピークとなつたのは、九月二十日午後四時三十五分までの一時間で七十六ミリ。冠水などの被害が出始めたのが二十日昼前からでしたが、実際に雨が降り始めたのは前日十九日の午後三時からです。そのような状況、二十日の降雨予測などから、建設業協会は二十日午前九時に、下沢町の建設会館に災害対策本部を設置しました。

――多治見市に対策本部が設置されたのが午後一時ということですが、さすがは迅速ですね。この日は大雨警報が午前八時十分、洪水警報は正午前の十一時四十三分に出されています。尋常でない

――そうですね。役所の不手際話となるという熱が入るもので、話が進みましたが、業界では対策本部設置後、どのような動きがあつたんですか。松島 多治見市内でいうと、正午前後に市之倉川のはらん防衛、

松島 協会の前田重宏理事長と私は指揮担当だったので、豪雨当日の現地には向いていません。ですが、電話で連絡を受けるだけで、災害の状況について把握できてくるんです。現地へ向けた作業員から連絡が来れば被害は軽いか、逆になかなか連絡がこないとか、電話する余裕がないほど重大といった具合に。二十日、二十一日の二日間、協会として延べ四百八十三人が

地域にいるからできること、土地を知り尽くしているから対処できることがあった。あの状況では、地元に入ることすらできないですから。

――なるほど。県内では平成二十二年の可児の豪雨、そして二十三年の多治見豪雨と、災害が続いていますね。いずれも百三十年に一度の規模といいますが、また今年も豪雨に見舞われても不思議ではない。そんな中、多治見建設業協会と多治見市建設工業会は、今後「台風十五号被害に対する建設業界の緊急対応」として、当日

9月の豪雨は不眠不休

協会企業483人が出動

――本日はお忙しい中、害に向き合い続けた一ありがとうございます。平成二十三年は東日本大震災の支援に始まり、九月には地元でも集中豪雨と、業界は自然災害

――そうですね。役所の不手際話となるという熱が入るもので、話が進みましたが、業界では対策本部設置後、どのような動きがあつたんですか。松島 多治見市内でいうと、正午前後に市之倉川のはらん防衛、

松島 協会の前田重宏理事長と私は指揮担当だったので、豪雨当日の現地には向いていません。ですが、電話で連絡を受けるだけで、災害の状況について把握できてくるんです。現地へ向けた作業員から連絡が来れば被害は軽いか、逆になかなか連絡がこないとか、電話する余裕がないほど重大といった具合に。二十日、二十一日の二日間、協会として延べ四百八十三人が

地域にいるからできること、土地を知り尽くしているから対処できることがあった。あの状況では、地元に入ることすらできないですから。

――なるほど。県内では平成二十二年の可児の豪雨、そして二十三年の多治見豪雨と、災害が続いていますね。いずれも百三十年に一度の規模といいますが、また今年も豪雨に見舞われても不思議ではない。そんな中、多治見建設業協会と多治見市建設工業会は、今後「台風十五号被害に対する建設業界の緊急対応」として、当日

謹賀新年 2012年

株式会社 **パロー** 相談役 名誉会長 伊藤喜美
代表取締役 社長 田代正美

パローグループ

- | | | | |
|------------|---------------|-----------|----------------|
| 中部薬品(株) | (株)アクトス | 中部流通(株) | 中部フーズ(株) |
| 中部興産(株) | (株)主婦の店商事中部本社 | メンテックス(株) | (株)岐東ファミリーデパート |
| (株)ダイエルフーズ | (株)中部保険サービス | (株)タチヤ | (株)ユース |
| (株)食鮮館タイヨー | (株)Vソリューション | (株)北欧倶楽部 | |

の気象や災害発生、出動、復旧状況などをまとめた。豪雨がいっ、どこを襲つてもおかしくない昨今の異常気象に警戒を強める意味でも貴重な資料となりそうです。

松島 岐阜県道事務所や多治見砂防国道事務所、岐阜地方気象台がまとめた資料に、多治見市の警報・避難勧告、災害発生、復旧状況などを時系列に並べ、業界の対応なども記しました。各管轄の資料を一つにまとめただけなのですが、それらを照らし合わせることで、降雨量と河川水位、災害発生時間などの関係が見えてくるんです。気象台の資料では、平成十二年の東海豪雨と、気象条件が酷似していることを指摘しており、興味深いです。

——作成した資料の活用は考えていますか？
松島 今回の豪雨は、



上・国道19号(富士見町)の応急復旧/下・民家に流れ込んだ土砂の清掃 【東濃を襲った9月の豪雨災害では、業界あげて幅広い対応にあたった】

時間雨量、降り始めからの雨量とも観測史上最大でした。災害規模も甚大で、我々の出動も近年にない規模の人数と時間を費やしています。記録として残し、皆さんの記憶が新しいうちに、市議会や区長会などにも資料を活用して働きかけていきたいと思っています。自然災害に対する認識を高めたり、今後の基盤整備、水害対策の参考になればと思います。

震災特需で値段は高騰 余波は人件費にまで

——こういった資料作成も含め、九月の豪雨は「地元業者が動ける」災害でした。ただ東日本大震災のように被害もエリアもばく大となると、先ほど言われていた「そこにいるだけで頼りになる業者」でさえ、被災してしまふという状況になりますね。

松島 そうなんです。この間も、東京で開かれた業界の講演会で話題になったのですが、



災害時の対応について語る松島副理事長

——会社の規模や数が減り、業界自体が体力を失えば、復旧のスピードも遅くなるという危機感がありますね。ところで、震災による業界の影響は実際にはどうなんですか？

松島 人材不足は、やはり深刻と聞いています。ものだけでなく被災地では職人が不足しているんです。東北へは近いところから中心に入っているようですが、東京の人が東北へ行く、静岡の人が東京へ、名古屋の人が静岡へといった具合に、しわ寄せが広範囲に及んでくるわけです。大抵は、被災地と、ほとんどの人が被災地入りしているとも聞きます。問題は、資材や人手不足により、

物価や人件費が高騰することです。阪神淡路大震災の時に高騰して、工事をやるほど赤字になるという現象が起きました。それで、実際に倒産も相次ぎました。

——特需という、もうかるイメージが強いですが、実際には特需だからこその値段が高騰するわけですね。合併特別債の期限を被災地だけでなく全国で延長する動きになっていますが、突発的な非常事態が発生しているわけですから、いろいろなことを政府の制度として見直す必要はないでしょうか。復興を支援する会社を倒産させるような事態を招くべきではありませんね。

松島 それに、この三月にモラトリアム法とも言われる中小企業円滑化法が期限通り解除されたら、建設業だけでなくあらゆる経済界に打撃がありそうです。消費税の増税など、事業主として気になることは山積しています。

——実は、今回の震災を受けて、「国の機関はやっぱり必要」と見直されているんです。あれだけ被害が大きいと、政府の巨大な力でもできないことも多いわけですし、全員の事例として経験やノウハウを蓄積する場としても、やはり国の機関は有意義だと思います。ですから、なんとか国や政府にはいろいろな面で見直しを図ってもらいたいものです。

——公共工事は、とにかく無駄の温床みたいな言われまますが、「無駄だから必要」と言う人もいます。いざという時に動けるだけの余裕を平時に蓄えておくというの、大げさでなく、日本国民、日本国土のためだと思いませんか？

松島 私、私自身が、人々のための仕事と自負、災害支援は使命感で



毎日やさしい。毎月うれしい。エネファームの家



東邦ガス株式会社

エネファーム

効果。



東邦ガスの家庭用燃料電池エネファーム

東邦ガス株式会社

東邦サービスセンター 〒509-0236 岐阜県可児市津ヶ丘1丁目1-1 ☎(0574)64-3031